

平成27年3月30日

海津市長

松永清彦様

かいづ夢づくり協働事業審査委員会

委員長 石垣幸雄

平成26年度かいづ夢づくり協働事業採択事業の事業評価の報告について

みだしの件につきまして、かいづ夢づくり協働事業実施要項第15条の規定により採択事業の事業評価をしましたので、下記のとおり報告します。

記

番号	団体名	事業名
①	デリシャス“BB”会	外来魚を楽しく釣って、市民が商工会や漁協組合と連携して地域で食し、まちを元気にする“BB”プロジェクト
②	養老鉄道を守る会“かいづ”	養老鉄道利用拡大・沿線のまちとの交流拡大事業
③	特定非営利活動法人海津おやじの会	養老鉄道利用活性化事業
④	特定非営利活動法人良縁の会ひまわり	海津市住民の移住定住に伴う出会いの場の提供
⑤	かいづ風土紀の会	海津風土記 歴史は残す
⑥	子供塾 for Kaizu	歴史探訪・環境調査・スポーツ等の体験学習を通して、将来の海津市を担って立つ子供達のための『子供塾 for Kaizu』
⑦	その他	

かいづ夢づくり協働事業 事業評価書

①

事業名	デリシャス“BB”会
実施団体名	外来魚を楽しく釣って、市民が商工会や漁協組合と連携して地域で食し、まちを元気にする“BB”プロジェクト

事業に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	71% 5	29% 2	
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	86% 6	14% 1	
事業の発展性・継続性が認められるか？	71% 5	29% 2	
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	71% 5	29% 2	

意見・感想

課題の解決や地域の活性化についてスケジュール通り進行できた。
参加者や試食等のアンケートがあるともっとよいのではないか。
駆除の指標が出てきていない。

協働に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	57% 4	43% 3	
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	57% 4	43% 3	
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	43% 3	57% 4	

意見・感想

市の協働については、若干成果が上がっていない。
BBコロッケは市民権が得られる様に、飲食店などと協議する方向性と遊漁料の免除など交渉が必要
なところと協議をされることを希望する。
団体というよりも、市側の関わり方がよく分からない。
団体の協働としての評価が難しい。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

この事業へ市民の参加のリピート率をもっと高める工夫と、このままでは収支面で自立しないので、
新しいことを増やして広がりを持たせていくことが今後の課題である。
地区社協のサロンなどと連携して、定期的にやれるといいのではないか。
BBカフェを恒常的に開いてもらいたい。
企業化も視野に入れて行ってはどうか。

事業名	養老鉄道を守る会 “かいづ”
実施団体名	養老鉄道利用拡大・沿線のまちとの交流拡大事業

事業に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	86% 6	14% 1	
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	86% 6	14% 1	
事業の発展性・継続性が認められるか？	57% 4	43% 3	
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	67% 4	33% 2	

意見・感想

課題の解決手段として、更に工夫が必要。
 鉄道存続について費用に対して効果が少ない。
 自立性（予算面）は低い。
 取り組みの公共性は高いが継続性が課題。
 基金については補助金制度の趣旨からしてどうかと思う。
 こちらから行ったり、向こうから来たりといった各種企画があり、よかったと思う。

協働に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	43% 3	57% 4	
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	71% 5	29% 2	
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	57% 4	43% 3	

意見・感想

どことどの部分を協働したのかが不明。
 樽見鉄道との連携は良いと思う。
 毎年、市との協働が進んできている感がある。
 適正と評価するが、あと2年（実質1年）しかない中で、存続問題に市として本腰を入れるべき。
 樽見鉄道とのコラボは評価できる。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

樽見鉄道との温度差の話は良く分かるが、運営のやり方に違いがあるためそこから生じるものが大変大きく双方に差が出ている。養老鉄道の存続対策には発展せずこうしてただイベントをやってアピールするだけしか方法がないのかと考えさせられる。

事業名	特定非営利活動法人海津おやじの会
実施団体名	養老鉄道利用活性化事業

事業に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	33% 2	67% 4	
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	100% 6		
事業の発展性・継続性が認められるか？	17% 1	83% 5	
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	50% 3	50% 3	
意見・感想			
<p>課題の解決の手段としては更に工夫が必要である。 みかん狩りについて参加対象者が限定されているのが課題。 写生大会以外養老鉄道利用活性化が主目的ではない。事業テーマとしては、目的に合うものを市民提案すべきである。 写生大会では鉄道に乗らないケースが出ているのではないかと費用対効果がみられない。</p>			

協働に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	33% 2	67% 4	
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	50% 3	50% 3	
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	17% 1	66% 4	17% 1
意見・感想			
<p>他の団体への拡がり、つながりが認められない。 どことどの部分で協働したのかが不明。 教育委員会とはよく連携されているようではあるので適正とした。ただし、事業テーマとの関係においては今後工夫がされなければならない。</p>			

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

<p>タイムトライアルにスポンサーがついたことで自立運営がかなり可能になってきているので、今後の活動に期待したい。 養老鉄道とは切り離して活動したほうがよいのではないかと。 みかん狩り参加者が小学校に限定されているので、もっと広域的に開催してもらいたい。</p>

事業名	特定非営利活動法人良縁の会ひまわり
実施団体名	海津市住民の移住定住に伴う出会いの場の提供

事業に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	86%	6	14%	1		
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	71%	5	29%	2		
事業の発展性・継続性が認められるか？	57%	4	29%	2	14%	1
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	29%	2	42%	3	29%	2

意見・感想

3年間で4、5組のカップルを結婚に結びつける成果があった。
 自主運営でやっていけるのではない。
 チラシ代が非常に高い印象を受ける。
 チラシ・動画製作に効果はあったのか疑問である。
 費用対効果が非常に悪い。
 効果があったかどうかの検証が不十分である。
 むしろ海津市にこだわった企画が必要。
 やっていることは良いことだが、手法を変えるべきである。

協働に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	43%	3	57%	4		
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	57%	4	29%	2	14%	1
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	29%	2	71%	5		

意見・感想

市と協働することで参加者の増加に効果があった。
 他市町村のNPOとの連携等で協働できないのか。
 他地域への広報チャンネルもっており、良い。
 そもそも市報に掲載するといった形で市との協働ができるのでは。
 市側の関わりがあまり見えない。むしろ名前だけ貸している印象がある。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

他地域や他団体への拡がりやつながりにもう少し力を入れていく必要があるのでは？
 男性を海津市内に限定できないか？

事業名	かいづ風土紀の会
実施団体名	海津風土記 歴史は残す

事業に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	71% 5	29% 2	
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	43% 3	57% 4	
事業の発展性・継続性が認められるか？	43% 3	57% 4	
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	86% 6	14% 1	

意見・感想

課題解決の1年目としてデータ収集は完了した。
 活動費（報償費）について、もっと使っても良かったのではないか。
 当初の委員会からの要望は一切実現していない（一般参加者を募るなど）。
 今後の活動がよくわからない。
 今後、本年度の成果をどのように生かしていくかが課題。
 当初の感想よりは良かったと思う。少人数でよく頑張ったと思う。

協働に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	43% 3	57% 4	
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	71% 5	29% 2	
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	14% 1	72% 5	14% 1

意見・感想

市の関わりが補助金以外見えてこない。
 市の活躍できる余地があるのではないか（拓本作り講座など）。
 市のフォローがもっと必要。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

今後の活動に期待する。
 活動結果の市民への還元をどのような形で行うのか、しっかり考えて行ってほしい。
 作る過程を体験するような活動に拡げられれば更に良くなると思う。
 意義ある事業だと思うが、プレゼンテーションについては事前指導をしてほしい。
 平成27年度、景観行政団体になるので景観計画に結びつくと良い。

事業名	子供塾 for Kaizu
実施団体名	歴史探訪・環境調査・スポーツ等の体験学習を通して、将来の海津市を担って立つ子供達のための『子供塾 for Kaizu』

事業に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	71% 5	29% 2	
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	71% 5	29% 2	
事業の発展性・継続性が認められるか？	57% 4	43% 3	
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	86% 6	14% 1	

意見・感想

課題の解決ができた。
 専門性をもったスタッフや資材が整っている団体であるため実現できたと推測する。協働事業の体裁をとる必要があるか疑問がある。
 海津市全体で募集し、参加者が集まったのが良かった。

協働に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	50% 3	50% 3	
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	67% 4	33% 2	
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	14% 1	86% 6	

意見・感想

市と協働することにより課題の解決に成果があった。
 環境塾・遺跡歴史塾・子供塾は生涯学習等で常設化されるといいと思うし、そのように働きかけていくことが協働であると考えます。
 市の協力はどの程度あったのか？
 すでに完成形で単独でもやれる、今後の協働のあり方において市との協議が必要と思う。
 他団体との協働が必要。
 行政サイドが身近な団体と協働を企画することが必要と思われる。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

毎年行うイベント系の行事としては、企画内容が大事になってくる。毎回新しいものにするのか、定例のものや新しいものとの組み合わせにしていくのか、どうやっていくかを考えていてもらいたい。

その他

市（事務局）が市民活動として長期的に育成する取り組みが必要（市民活動団体の登録制度や市民活動支援センターの設置等）。

事業を3年間実施し、今後かいづ夢づくり協働事業補金制度を活用しないこととなる団体についても、フォローを忘れずに行ってほしい。

市民活動団体が少ないので、団体同士の横の連携が大事だと思う。